神郷校区まちづくりタウンミーティング　開催結果報告書

開催日時　　令和 7 年 8 月 21 日（木）19 時 00 分～20 時 14 分
場所　　神郷公民館
司会・進行　　神郷校区連合自治会長
参加者数　　男 45 人　　女 9 人　　合計 54 人

１．市の重点事業に関する質問

（質問者）
新居浜市が住みやすさランキングで四国２位になった要因は？

（市長）
算出指標によると、安心度、利便度、快適度、富裕度で高い値を示している。

（質問者）
防災食品の管理（賞味期限等）はどうなっているか？

（市長）
賞味期限は５年間なので、２８か所を５グループに分けて管理している。賞味期限が近いものは廃棄せずに防災訓練等イベント等で使用するようにしている。

２．校区課題

災害時の生活用水の確保について

（質問者）

神郷公園の松神子土地改良区の水源地について、非常時には地域住民も生活用水として利用できるよう検討を進めるとのことであったが、その後の状況を教えていただきたい。なお、神郷地区には３つの土地改良区があるが、非常時には各井戸が利用できるよう市と改良区で協議をしていただきたい。

（危機管理監）

松神子土地改良区の水源地について、非常時には地域住民も生活用水として利用可能であるかの状況につきましては、土地改良区に関する事務を担当する農林水産課から、当該吉岡泉、垣生及び松神子並びに多喜浜の土地改良区に確認したところ、災害時にはそれぞれの水源地を利用することについて協力することは可能である、と返事をいただいたとの回答を得たところである。

大規模災害時には、停電によるポンプの停止や、地下水の状況変化などにより水が汲み上げられないことも考えられることから、まずは各家庭での備蓄の確保につとめていただくようお願いしたい。

（質問者）

校区で持っている水中ポンプは使用できないか？

（農林水産課長）

校区には１７か所の改良区の井戸がある。深井戸は使用できないが、浅井戸については使用できる可能性があるが調査が必要である。

（質問者）

水源地マップのようなものを作って、日頃から災害に備えておきたい。

（危機管理監）

個人所有の井戸等について、市の方である程度は把握しているが、個人情報の問題があるので公表するのは難しい。災害時にはお知らせできるようにしたい。

（質問者）

災害で停電が起こった時に、改良区のポンプを発電機で使用できるようにしてはどうか？

（農林水産課長）

発電機でポンプを動かすようにするためには、現地の電気工事が必要となるので、工事をすることが可能であるか、改良区と協議していきたい。

道路の拡幅について

（質問者）

ハタダ跡地から神郷公園までの道路（田の上落神線）については、神郷小学校及び川東中学校の児童生徒の通学路になっているが道路幅員が狭く、朝の通勤通学時は交通量も多いた

め、事故の危険性がある。また、大規模災害時の神郷公園への資機材搬入の重要な道路でもあるため、早期に道路の拡幅をお願いしたい。

（建設部長）

ご要望の区間については、４ｍ以上（約５．５ｍ）の幅員があり、今のところ道路拡幅の予定はないが、今年度、交通安全対策として区画線を設置している。また、新居浜警察署においても交通安全対策の実施に向けた検討を行っていると伺っている。今後も、地元と行政とが連携し、安全な通行が図れるよう取り組む。

（質問者）

区画線を引いていただいたが、まだ十分ではない。見通しが悪いので、ミラーを設置するとか、県道に横断歩道をもう一本引くとか、歩道に待避所を設置するとかはできないか？

（建設部長）

警察からは進入禁止の時間帯を設ける等の話も聞いている。今後も引き続き安全について検討をしていく。

３．その他

（質問者）

防災倉庫の管理規定が厳しく、中に入れないので自治会で買った防災グッズとか機材を入れることができない。点検もできない。スペースが空いているので、自治会の物も入れたい。

（危機管理監）

鍵の管理を学校管理から公民館管理に変更したので、点検等については危機管理課に連絡した上でカギを開けて実施していただきたい。自治会の資機材を一緒に入れることについては、今はスペースが空いているかもしれないが、今後物資が増える可能性もあり、また誤使用やなどを避けるため、大変申し訳ないが市の備蓄品のみの保管としている。

（質問者）

敬老地域ふれあい事業交付金について、以前から一人当たり 1,000 円になっているが、物価の高騰もあり、全然足りなくなっているので増やしてほしい。

（市長）

確かに 1,000 円では足りないと思うので、今後前向きに考えていく。

市長まとめ

長時間にわたりありがとうございました。ここでいただいた貴重なご意見はしっかりと持ち帰り、前向きに検討したい。財政状況が必ずしも良いとは言えない中で、現在営業本部の立ち上げなど様々な形で税収を増やす仕組みづくりに取り組んでいる。なるべく新居浜市のいいところを引き出せるよう努めていくので今後ともよろしくお願いする。